

北米地域との青少年交流(KAKEHASHI Project - the Bridge for Tomorrow-)

カナダ国訪日団第1陣(ニューウェストミンスター高校グループ)

訪問日程 平成25年5月8日(水)～5月16日(金)

1 プログラム概要

本プログラム第1陣では、カナダ国ブリティッシュ・コロンビア州ニュー・ウェストミンスター市に所在する、ニュー・ウェストミンスター高校(New Westminster Secondary School)の一行25人が、5月8日(水)(日本到着)～5月17日(金)(日本出発)の旅程で来日。

我が国に対する潜在的な関心の増加、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力などのブランド、日本的な「価値」への国際理解増進、未来を担う青少年同士の相互理解を図ることを趣旨として、東京および近郊においては、昭和電工川崎工場、パナソニックセンター東京の企業見学を実施。大阪・京都における地方プログラムでは、インスタントラーメン発明記念館における体験学習を行い、姉妹都市である守口市市長表敬訪問を行った。

パートナー校となった羽衣学園(高石市)ではホッケー、お香作り、習字、琴、対話の時間をもち、また生徒宅でのホームステイで交流を深めた。実質的な送別会となった「交流の夕べ」では双方がダンスを元気に披露するなか、最後は全員が涙ながらの別れとなった。京都では葵祭前日に京都市立紫野高校の生徒10名と共に、上賀茂神社(世界遺産)にて外国人として初めて、普段日本人も立ち入ることの出来ない本殿の葵桂の飾りつけを実体験した。また、その他の世界遺産「古都京都の文化財」を代表する金閣寺と清水寺も見学する機会を得た。

2 日程

5/8(水)	16:30	成田空港着
5/9(木)	午前	オリエンテーション、日本文化レクチャー『日本の文化を着物で知ろう』
	午後	江戸東京博物館見学
5/10(金)	午前	昭和電工川崎工場見学
	午後	大阪移動
5/11(土)	午前	インスタントラーメン発明記念館見学(池田市)
	午後	羽衣学園でホストファミリー対面式
5/12(日)	終日	ホームステイプログラム
5/13(月)	終日	羽衣学園高等学校での学校交流
	夕刻	交流の夕べ
5/14(火)	午前	守口市市長表敬、山岡金属工業【夢工房】見学、京都移動
	午後	上賀茂神社にて葵祭準備参加
5/15(水)	午前	京都市内世界遺産 金閣寺、清水寺観光
	午後	上賀茂神社にて葵祭見学
5/16(木)	午前	東京移動
	午後	パナソニックセンター東京見学
5/17(金)	午前	日本滞在中の経験についてのディスカッション
	18:10	成田発

3 写真

	
<p>5月8日 日本文化レクチャー</p>	<p>5月8日 昭和電工川崎工場見学</p>
<p>lecture on Japanese culture (May 8)</p>	<p>Visit to Showa Denko, Kawasaki Plant (May 8)</p>
	
<p>5月13日羽衣学園高校交流</p>	<p>5月13日羽衣学園高校交流</p>
<p>Exchange Program at Hagoromo Gakuen high school (May 13)</p>	<p>Exchange Program at Hagoromo Gakuen high school (May 13)</p>
	
<p>5月14日山岡金属工業見学</p>	<p>5月14日葵祭準備</p>
<p>Visit to Yamaoka Industrial (May 14)</p>	<p>Joining the Aoi Festival Preparation (May 14)</p>

4 参加者の感想

「このプログラムは感謝してもしきれない程、人生でものすごく濃厚な経験となりました。私にとっては、ホームステイが中でも一番でした。私達全員が出逢った人々とこんなにも強い絆を築くことができ、私はこのツアーで与えられたご好意と優しさを永遠に忘れません。この経験が驚くほども素晴しかった事をできるだけ多くの人々に伝えたいと思います。この経験は、3年たち、丁度面白くなってきた日本語の習得を完璧に啓発してくれました。

日本企業の社風（文化）とセンスがすごく強く感じられ、まるで私自身も社員の一部になれた気分になりました。特に葵祭り参加と学校プログラムの時は、もうすっかりうちとけることができました。この旅は私の大好きな日本語と日本文化を一層情熱的に強く刺激してくれました。

日本は私の「将来住みたいところ」になりました。これから、機会があれば、日本に関するどんなものでもすべて経験したいです。生涯で最高の体験をありがとうございました。」

[女子 16 歳]

「日本はとてもきれいで礼儀正しいです。一度もごみを見なかったし、臭いにおいも感じませんでした。生徒たちの学校清掃が印象的でした。リサイクルシステムも同様に気に入りました。特にペットボトルです。」

[男子 16 歳]

「全体的に見て、この訪問の一番印象的だったことは出会った人々です。知り合ってもないのに皆さん誰もが親切にもてなして下さいました。特に私のホームステイファミリーも日本が全体で歓待して下さいしている事を示して下さいました。文化が広く違うにも関わらずすぐに誰かの家族に受け入れて下さり、感動しました。

羽衣学園では、学年やクラブ（部）を超えた強い団結力がありませんでした。今までみたことのないものです。

他に面白かったのは、お祭り準備です。葵祭りは、日本の文化と宗教がどのようにあるかを、又、それらが社会でどんなに大切かを教えてくれました。皆が今もその国の歴史と宗教の象徴を大切にしていることがわかりました。

あらゆるどんな機会でも、この旅での多くの出来事を報告します。短期間だったので、今回見られなかったこと全てを見るために、必ず又日本に来ます。」

[女子 16 歳]

「ここ日本での 10 日間の素晴らしい日々を終え、早く帰宅したいです。というのも日本が嫌いだから戻りたいのではなく、大好きだからです。大好きな日本でものすごく沢山の事に感動したので、帰宅後この経験を早く家族や友人に報告したいからです。

滞在中の全ての中で、最も印象的だったのは、日本人の人をうやまう心です。会釈しな

が示してくれるちょっとした気配りには、本当に心あたりました。誰もが無視せず皆の存在を認めようとしていて本当に感心しました。

この敬意は人に対してだけでなく、環境にも向けられています。羽衣学園では、カナダには無いことを目撃しました。生徒が校庭、校舎を大切に掃除しているのです。このように人もとりまく環境も尊重することは最も印象的だったといえます。家に戻ったらおじぎはしなくても、微笑むことは広めたいです。必ず体育館とか自分が使ったエリアをもっと掃除するようにします。

尊敬、敬意と同様、親切心も印象的だったといい忘れてはなりません。ホームステイ滞在は本当に中身の濃い経験であり、とても親切な寺岡さんご家族との2泊3日間は微笑みと笑いがとぎれませんでした。

この日本人の尊敬心と親切心、ホームステイがどんなに人生を深められるかをカナダで話し伝え、できれば広める事を楽しみにしています。日本文化は本当に美しく、もうすでに日本に戻るのが楽しみです。」

[男子 16 歳]